

# NAGASAKI 看護連盟だより



展海峰

## 平成30年度 長崎県看護連盟スローガン

- 1、ベッドサイドから政治を変える！  
～1人ひとりが成熟・自律した活動をする～
- 2、長崎県の活性化に向け、看護の力を発揮しよう！  
～看護の心が健康で輝き、働き続けられる～  
～看護教育の質の向上～

目

次

会長あいさつ…………… 2	地区支部報告会（県北・離島）…………… 7
名誉会長あいさつ…………… 3	青年部だより…………… 8
平成30年度長崎県看護連盟通常総会… 4	施設紹介（みてみて my 病院）…………… 9
石田まさひろ参議院議員来崎…………… 5	平成30年度第1回病棟リーダー・施設連絡員研修会
平成30年度地区支部報告会（県南・県央）… 6	看護祭案内・編集後記他…………… 10



# ごあいさつ

長崎県看護連盟 会長 久米 春代

酷暑の夏もやっと通り過ぎ、初秋を迎え朝夕だいぶしのぎやすくなってまいりました。会員の皆様におかれましては、夏の疲れも取れすがすがしい秋の風に新たな気持ちで現場でご活躍のことと思います。

この7月、西日本を中心とした豪雨災害、ひきつづき台風での関東の浸水、北海道胆振地方の地震と災害がつづき、いつ起こるかわからない災害の中、防災危機管理を考えさせられた日々でした。被災されました皆さまには心よりお見舞い申し上げ、そして、一日も早い復興をお祈りいたします。

さて、平成30年度の長崎県看護連盟の総会も無事終わることができました。

## スローガン

1. ベッドサイドから政治を変える！  
～一人ひとりが成熟・自律した活動をする～
1. 長崎県の活性化に向けて看護の力を発揮しよう！  
～看護の心が、健康で輝き続けられる～  
～看護教育の質の向上～

## 重点目標

### 1. 力強い組織の創成

- 活動目標
- 1) 県・支部役員が各自の目標に沿って実践する
  - 2) 若手会員、無関心看護職の政治参加を促進する
  - 3) 会員の増員（目標6300）と育成

### 2. 成熟・自律した活動

- 4) リーダーの増員（目標650以上）と育成
- 5) 看護協会政策実現に向けての活動およびその他必要とする問題に取り組む
- 6) 看護職の現状を広く社会に紹介する

上記の承認されました重点目標に向かって役員一同県・支部・施設で研修会等々を開催し啓蒙活動に邁進しています。来年行われる第25回参議院選挙に向け、石田まさひろを「伝え・広める」活動の展開の中、9月6日（木）石田議員が来崎され、県北地域の施設訪問をおこないました。交流会の中では、「働き方改革」についての質問が多く、看護職の間でのタスクシフト、タスクシェアリングを制度的な仕組みとしていくことを看護界が中心となって考えていく必要性を考えさせられました。看護職が生きがいをもってやりがいのある看護が出来、今日もいい看護ができた実感できる職場環境を作るためにも看護職国会議員石田まさひろを熱いエールで国政に送りましょう！

会員の皆さまのご協力、ご支援よろしくお願ひいたします。



香港ディズニーランドの飲茶





# ごあいさつ

長崎県看護協会 長崎県看護連盟 名誉会長 山口 ミユキ

猛暑続きだった日に、やっと秋のしのび寄り、コオロギの声にそっと耳を傾ける昨今、皆様には各々の場でご活躍のことと喜んでおります。

平成30年度の日本看護協会・長崎県看護協会・日本看護連盟・長崎県看護連盟の通常総会も終り、平成30年度の事業実施が活発に始動しております。この中で我が国は自民党総裁選の渦中で党員は祖国日本の弥栄の為に1票を投じたいものであります。また本県に於いては元、長崎県知事高田勇様のご永眠に際して悲しみの渦中であり、振り返れば社会の流れに伴う看護の諸問題に対して常に真剣に取り組んでいただいた、その中で県立長崎シーボルト大学 看護栄養学部看護学科の創設。諸般の事情の中から苦慮された言葉「県立大学は佐世保にキャンパスがある。県で2つの大学は到底困難」との繰返し言葉に対して、近県で年毎に新設される看護大学、何が何でも西洋の医学の発祥の地、長崎に於いて・・・という言葉をお題目の如く届けた日に知事様は、わかった、やりましょう・・・と真剣に、私の目に応えていただきました。お互いの目的は看護職者の人材育成と良質の実践ナースの育成であります。爾来お目にかかる毎に、シーボルトはうまく育っていますか、あれは看護協会の大学ですからと、心優しく言葉をいただきました。いまその言葉が焼き付く胸に伝えることは大学側と看護協会が更に交流をはかることによって目的に達するとき、故、元長崎県知事 高田勇様の長崎県看護協会にお寄せいただいた尊い真心に届くことだと信じます。

◎故、元長崎県知事 高田勇様の真心に

一看護が社会に見える為に、輝くために

(長崎県の10,000人で看護が見える、輝く)

・平成30年度長崎県看護連盟活動の実践

## 重点目標

1. 力強い組織の創成
2. 成熟・自律した活動

・それぞれの役割をそれぞれがしっかり認識し、理解の上で活動すること。

会長、副会長、幹事長

幹事

監事

支部長、支部幹事長、リーダー・連絡員

副院長(看護部長)、師長、看護職員

◎青年部会

◎OB会

※役割の中で、不足している分は何か。不足の分を埋めるものはいまず。

◎新会員の皆さまには特に、丁寧に説明していただき「看護の心は一つ」のもとで、長崎県の同志10,000人の結集によって ベッドサイドから政治を変える ことができます。やる気、本気、根気で取り組み、平成31年度に備えましょう。益々のご活躍ご発展によって、看護の輝きが全ての人々を人間らしくその人らしく穏やかな最期を支える。長崎県看護連盟に期待して、ごあいさつと致します。



「国政を語る国会議員の会」  
岸田文雄 党政調会長  
吉野正芳 復興大臣と

平成30年9月19日 記

—秋分の日を目前にご先祖への感謝—

# 平成30年度 長崎県看護連盟通常総会

日時：平成30年6月30日(土)  
場所：ながさき看護センター

13：30～16：00  
参加人数：597名（役員含む）

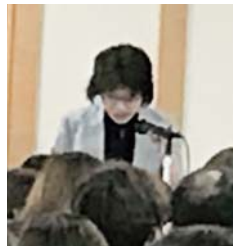
今年は、新執行部体制での第1回目の総会でした。久米会長を中心に来年度に予定されている参議院選挙に向け、政治力の強化と組織の団結を求められる総会となりました。



## 日本看護連盟通常総会代議員の報告



濱口哲平さん  
(はなの杜)



平野つよみさん  
(諫早記念病院)

## 来賓祝辞

- 中村法道 長崎県知事  
(代理：上田裕司副知事)
- 宮本明雄 諫早市長
- 加藤寛治 衆議院議員
- 北村誠吾 衆議院議員
- 谷川弥一 衆議院議員
- 富岡 勉 衆議院議員
- 金子原二郎 参議院議員
- 古賀友一郎 参議院議員
- 中島廣義 自民党県連幹事長
- 松本正則 諫早市市議会議長
- 西村伊知恵 長崎県看護協会会長



## 「石田まさひろ」を励ます会



総会閉会后、青年部主催による石田まさひろを励ます会を開催。青年部の本多葵君が石田まさひろ氏になりきり全員の励ましを受けました。





# 石田まさひろ 参議院議員来崎

9月6日(木)、石田まさひろ参議院議員は、県北の4施設を訪問し、病院職員との意見交換や入院(入所)患者さんとの交流を深めましたので、そこでの意見を簡単に紹介します。

## 佐世保共済病院



### ▶意見

院内託児所を設けてほしい

### ▶石田

子供を預かるだけでなくニーズに沿った予算をつけていきたい。

### ▶その他

病児保育や子育て支援の期間についての意見があった。

## 佐世保記念病院



### ▶意見

後方支援の施設が不足している  
介護職の賃金が低い

### ▶石田

急性期と療養型の看護基準や運営の方法の検討が必要

## 佐世保市総合医療センター



病院長や事務局部長も参加し看護部だけではなく病院全体の職員の「働き方改革」についての意見がでた。看護師の定年について、石田氏は定年という概念を変えなければいけない。

## はなの杜

入所患者さんとの談笑



介護施設で働く看護師は一般の医療機関と比較して賃金が低いという意見があった。

# 石田まさひろ参議院議員講演

## テーマ 「働き方改革」 ～国の政策、そしてこれからの現場の取り組み～

午前から午後にかけて県北の4施設を訪問後、16時から、ながさき看護センターにて施設代表者や連盟会員を対象に講演会を実施しました。平日の昼間にも関わらず、308名の参加があり石田議員への関心と期待の大きさを感じることができました。現在、石田議員は厚生労働委員会の筆頭理事として「働き方改革」法案の与野党折衝の窓口となり活躍されています。本法案の「同一労働同一賃金」「長時間労働の禁止」「有給休暇取得の義務化」の制度論だけでなく国民の幸せこそ本来の目的であることを話されました。



# 平成30年度 地区支部報告会

## 県南地区支部

**日 時** 平成30年7月12日(木) 18:30~20:00

**参加人数** 201名(会員150名、県役員9名、青年部9名、新役員1名、支部役員32名)

**来 賓** 8名 **場 所** 長崎県看護協会(長崎会館)研修室

梅雨も明け、夏の到来を迎える中、県南地区9支部合同報告会と合同研修会を開催いたしました。長崎市長、県議会議員、市議会議員の先生方の来賓をお迎えし、150名の連盟会員と共にこれまでの歩みとH31年の選挙に向けた活動について熱く語り合いました。報告会後は、第1回合同研修会『新幹線長崎ルートについて』をテーマに、下条ふみまさ先生に九州新幹線西九州ルートの開業について普段聞くことのできない貴重なお話を講演して頂きました。看護業界のため尽力して下さる方々が多くいらっしゃることを知る機会となり、今後の連盟活動も更に盛り上げていかなければならないと再確認しました。



最後は、植松支部長の掛け声と共に参加者全員で『頑張ろう』コールし、会場が一致団結したところで終了しました。皆様のご協力のおかげで無事開催終了することができました。ありがとうございました。

## 県央地区支部

**日 時** 平成30年7月18日(水) 18:30~20:00

**参加人数** 132名

**場 所** ながさき看護センター 3階B研修室

平成30年度県央地区6支部合同報告会と第1回合同研修会が参加者132名のもとで開催されました。豪雨のため日程変更となりましたが多数の参加者で会場が埋め尽くされました。



第1回合同研修会では山口ミユキ名誉会長の「看護の集い」というテーマで講演がありました。長崎県看護連盟の実績とこれからの看護師にとって必要なことについて熱く講演され参加者も感銘し、一丸となって連盟活動を盛り上げていこうと気合が入りました。

最後に支部長、支部役員、青年部が一丸となり赤いタオルを掲げ、「頑張ろうコール」を会場全員と行い終了しました。



## 県北地区支部

**日 時** 平成30年7月19日(木) 18:30~19:30

**参加人数** 100名 **場 所** 中部地区公民館

平成30年7月19日(木)18:30より県北地区3支部合同報告会を中部地区公民館で100名の会員の参加を得て開催しました。

長崎県看護協会県北支部長の久田明子様を来賓にお迎えし、看護連盟への期待を込めた力強いご挨拶をしていただきました。また長崎県看護連盟の口石ヤス子副会長からは次期参議院選挙に向けての意気込みが参加者にしっかり伝わるお言葉でした。

H29年度の活動報告及びH30年度の活動計画案はすべて承認され、今年度の活動内容について会員の方のご参加をよろしく願います。次いで、新旧役員紹介の後に、第2支部支部長を11年間勤めていただいた福島支部長から挨拶をしていただきました。看護連盟に対する思いや第2支部で実施した連盟に対するアンケートの結果を話され、「研修には1回は参加」「選挙には必ず行く」ことを強調されました。



長崎県看護協会 県北支部長  
久田 明子 様



退任、新任役員あいさつ

報告会終了後には、研修会を開催し、石田参議院議員の知名度アップのためにプロフィールや活動状況のDVDを視聴(2本)しました。最後はお面をかぶった青年部が出てきてみんなで「がんばろうコール」をやって無事終了しました。



## 離島地区・下五島支部

**日 時** 平成30年7月6日(金) 18:30~20:00

**参加人数** 11名 **場 所** 「外の間」-ソトノマー 堤町1348-1

**目的:** 会員相互の交流を深めスムーズな連盟活動につなげる  
来夏の参院選に向けて「石田まさひろ」候補の浸透を図る  
多職種の看護職の情報交換の場とする

**内容:** 支部長挨拶

国・県連盟通常総会報告

参院選に向けた活動について

坂下前支部長が自民党優秀党員として表彰されたお祝い

29年度の連盟支部活動についてプリント配布

食事しながら事お紹介・交流

平成29年度の支部活動報告会を交流も兼ねて行った。支部会員相互の交流を図る事が難しい中で連盟会員としての自覚を持つ良い機会となった。挨拶の中では国・県看護連盟通常総会の様子を伝えた。また、看護職国会議員の活動の様子を伝え、次回参院選の勝利が必要なことを話した。そのための取り組みについて会員への周知を図り協力をお願いした。



# 看護連盟 青年部だより

## 青年部として活動することで学んだことや意気込みを聞いてみよう



坂本悠也さん

看護と政治の繋がりを理解しておらず自分に関わりがないものと思っていましたが、青年部に入って1年半で看護と政治は切り離せない大切なものだと学びました。給料や看護師不足など不満を吐き出している方もいると思います。その愚痴を愚痴で終わらせないためにも看護の代表を国会に送る事が重要だと思います。自分たちの環境を自分たちで変えるために看護と政治の繋がりが大切であることを伝えていきたいです

青年部で活動していく中で自分たちの今の環境は看護師の国会議員の働きかけによって獲得してきたものだと感じました。看護連盟と聞くだけで嫌だなと思う人もいるかもしれませんが、今後も自分たちの環境を維持、向上させていくためには看護と政治の関係を知り、自分たちでできる行動をしていくことが大切となると思います。今後も青年部をよろしくお願いいたします。



土井亮拓さん



立石桃花さん

H30年9月より新しく青年部になりました。正直、連盟ってなんだろう、政治って難しいなあと思います。私と同じ想いの方もいると思いますが、少しでも働きかけて連盟・政治について興味を持っていただけるよう頑張りたいです。皆さんと一緒に成長していきたいです。

少しでも興味があれば、一緒に活動してみませんか？青年部一同お待ちしております

☆\*:..o(≧▽≦)o..:☆♪♪

## キャラバン活動

看護連盟青年部では、県北地区・県央地区・県南地区に分かれ、各施設を訪問し **キャラバン活動** という「政治と看護」の関係を理解しあう訪問講演活動を行っています！！看護連盟について知るチャンスです！たくさんの参加をお待ちしています (o>ω<o) 青年部が在籍している施設や他の施設も検討しています。自施設や近くの施設で開催の際は、是非お越しく下さい。

興味を持ってくれると嬉しいです♪

## 今後の予定

- 9 / 29 青年部研修
- 10 / 20 佐賀ポリナビワークショップへの参加
- 1 / 20 ポリナビワークショップ in 長崎の開催



第25回参議院選挙に向け、青年部も活発に活動しています。皆さんと一緒に頑張りたいと思いますので、よろしくお願いいたします。





日本赤十字社  
Japanese Red Cross Society

# みてみてmy病院

第21回

## 日本赤十字社 長崎原爆病院



当院は昭和33年、原爆被爆者の治療と健康管理を目的に、長崎市長を開設者として、現在の片淵に開設されたのが始まりです。昭和44年に長崎市から日赤へ移管され、「日本赤十字社長崎原爆病院」となり、昭和57年に茂里町に新築移転しました。そして、この度、平成30年5月2日、現地茂里町に三代目の原爆病院として生まれ変わりました。地域の方には「原爆病院」という名称に馴染みがあるのかもしれませんが、全国92施設ある「赤十字病院」としての社会的使命をも担っている地域中核病院です。私達職員一同は被爆者の心の拠り所となるべく『赤十字の使命のもとに、地域並びに被爆者の皆様へ良質な医療を提供します』を理念に、心新たにスタートをきりました。



高層階からの眺望

新病院は15階建の高層ビルで、1階から4階が外来部門、8階から14階が一般入院フロアー、15階が管理部門です。高層階から見渡す長崎港や仰ぐ稲佐山、満天の夜空が患者さんの心を癒してくれるものと期待しています。管理棟、健診部門、日赤長崎県支部が入る新別館完成を以って、2020年春にグランドオープンとなる予定です。

当院は“いざという時には急性期医療を受けることができ、在宅へ繋がる安心の医療”を実現するため、地域（在宅）に繋ぐ、『地域包括ケア病棟』を平成26年秋に創設し、今年4月には患者・ご家族が安心して療養生活を継続できるよう、訪問看護センターをステーション化しました。今後は緩和ケア病棟の開設に向け準備を進め、がん診療の拠点としてトータルな役割発揮を目指していきます。

一方、赤十字事業である「災害救護」はいつ何時でも誰もが出動できるように日常的に訓練を重ね、また、地域の方々を対象に生活支援や介護予防等の「講習事業」も日赤長崎県支部と連携・協働しながら取り組んでいます。

当看護部では理念とする“心のこもった質の高い看護”を提供するために、『キャリア開発ラダー』の教育システムを基盤に人材（＝人材）育成に取り組んでいます。また、看護職員のスタッフ一人ひとりが持つ能力・個性を活かし、お互いが支えあい、高めあえる関係性を構築し、PNSにより看護を提供しています。WLBを考えた働き方改革が求められている昨今、より一層、働きやすい職場環境、患者さん・ご家族、職員が“原爆病院で良かったね”と思える、親しまれる病院を目指していきます。



患者さん・ご家族の安心のために、もっともっと地域へ『訪問看護ステーション』



何時にも備えます「赤十字」



看護部のマスコット“くろくま”ちゃんとお心新たに!!

文責 看護部長 中村 清美

たくさんの応募  
お待ちしております。

my病院・施設を紹介してみませんか？

「これが自慢！うちならでは！頑張ってます!!」なんでもOKですよ。

応募方法はこちら → [hyk.renmei@kangorenmei-nagasaki.jp](mailto:hyk.renmei@kangorenmei-nagasaki.jp) または Fax (0957) 49-8066



# 平成30年度第1回病棟リーダー・施設連絡員研修会

日時：平成30年9月8日(土) 13:30～16:00

参加者：169名

場所：長崎県看護協会（長崎会館）5階研修室

対象者：病棟リーダー・施設連絡員

ねらい：1. 看護になぜ政治が必要かを理解できる

2. 参議院議員石田まさひろを伝え広める

3. 連盟の役割を理解し、リーダーとして自立した活動ができる

## 〈講演〉

- 1. これからの時代を担う看護職に求められること  
～看護協会会長を終えて思うこと～

公益社団法人長崎県看護協会前会長  
副島都志子氏



- 2. 施設でのリーダーとしての取り組み状況  
～自分の役割を認識して行動するということ～

県南地区第1支部幹事  
佐野 由佳氏



お二人の講演の後、石田まさひろ氏のDVDを視聴。実際に石田議員の活動内容を見ることにより、より議員の活躍を実感できたと思います。その後、5～6人のグループに分かれ自施設でリーダーとしてできることについてグループワークを実施しました。

## 長崎県看護連盟 県南支部主催

# 看護祭

恒例の激安バザー!!

マジでお買い得♪

来なきゃ損ですよ(笑)

健康相談 (血圧測定、血管年齢

や骨密度測定)もやります😊



この看護祭をとおして人々の健康が看護をとおして、健康維持・増進が出来ることを目的としています。一部売上金は福祉団体へ寄付を行っています。

日時:平成30年10月27日(土)12:00～14:00

場所:市民会館前広場

※雨天時(魚の町:看護会館5階)

## 石田まさひろ

## 後援会入会のお願い

入会目標数 30,000名

8月末現在 親会員 5,450名

子会員 15,039名

目標数を達成できるよう頑張りましょう!!

## 編集後記

朝夕やっと秋らしくなり、今年の猛暑をやっと乗り切った感じです。本紙に紹介していますが、9月に石田議員が来崎され石田議員の熱い想いに触れることができました。私達も来年の参議院選挙に向け熱い議員の気持ちを会員間に伝導していきましょう。

広報委員一同